

RPおおいた

2023年11月 発行 NO.21



晩秋の候、会員の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

コロナ禍も5類になり、会も活動をしやすくなり以前の様に交流会や、イベントを再開しようと考えています。

来年9月には JRPS 大分で最大となる、第28回世界網膜の日 in 大分が控えています。今その準備のさなかです。今までにない大きなイベントです。会員の皆様には当日の参加して頂くのは勿論のことですが、準備の期間の間もお手伝い頂きたいと思しますので、御協力のほど宜しくお願いいたします。

jrps 大分の皆様の方で、この大会を成功させましょう。

会長 渡辺 純

.....▲・▽・▲・▽・▲・▽・▲・▽・▲・▽・▲・▽・▲.....

今回もその場の雰囲気イメージして頂く為、録音のCDをお届けいたします。お聞き苦しい点やたわ言は、聞こえなかった事にして下さいませ。

会報誌編集

★★2023年 JRPS おおいた第10回定期総会

in ホルトホール大分 6月25日★★

久しぶりの総会は記念の10周年ですが、いつものように会長の挨拶からのどかに始まりました。

今年も議長を家村（旦那）さんをお願いして、参加者26名と委任状16通で過半数に達していただきましたので、滞りなく議題の承認は頂きました。

去年はコロナ感染症によりイベントがいくつか中止になりましたが、今年は徐々に活動を増やせればと考えております。来年の秋には世界網膜の日イベントが、大分県で控えていることの報告も会長からありました。会員皆様のご協力で、盛り上げてゆきましょう。



総会があまりにもスムーズに終わってしまったので、残り時間で恒例の一言挨拶と近況報告へ。

皆さん困ったり悲しんだりと思うところを報告して下さいますが、同じ身の上の方ばかりなので何故か最後は温かなな雰囲気になっておりました。県庁へお勤めされた方もいて、視覚障害者の視点から県へアプローチを起こして下さっているとの心強い報告もありました。

午前の部最後には、ホルトホール3階の大分県点字図書館ムクドリ文庫会長の木村さんも顔を出して下さいまして、視覚障害者の垣根を越えて協力していこうと言って頂きました。点字図書館として点字本の貸し出しだけでなく、交流のため部屋の提供、視覚障害者の困りごと相談事を受け付けたり、スマホやパソコンの使い方なども教えて下さるそうです。

午後の部はズーム通信を使って本部からミニライブと医療講演会を視聴しました。目のことに関するものではなかったので全員参加ではなく、興味のない人は懇親会用の部屋に移動しました。

興味をお持ちの方は同封のCDをお聞きください。



※※6月3日アイナビ講習会 in ムクドリ文庫※※

普段お世話になっている歩行訓練士、神屋先生のお誘いで、「アイナビ」と言うアイフォンで使えるナビゲーションアプリの講習会へ渡辺会長と此永が潜入体験をしてきました。他にも使い始めてみようかと考えている視覚障害者の仲間が何人か参加して、勉強会はなかなか好評のようでした。

このアプリはアイフォンのカメラ機能を使って、画面に何が映っているのかを20種類ですが音声で教えてくれます。だから首からアイフォンを胸の前に下げ、進行方向を撮影していると電柱があるとか、停車している車があるとか、信号がある、柵があるなどと教えてくれます。経路案内も音声でしてくれ、ゼンリンの地図を使用しているので、細かく視覚障害者をサポートしてくれるそうです。

面白いことに起動中はレコーダー機能で道中が録画されているようで、事故にあっても証拠を残すことができます。

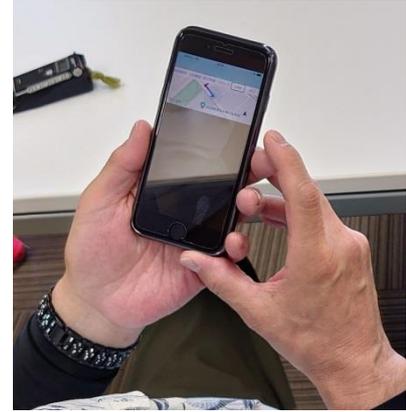
開発会社の「株式会社コンピューターサイエンス研究所」の社員さん2名が、使い方などを丁寧に説明して下さいました。

座学だけではなく実技講習を兼ねて、ホルトホールの外へも出てみました。信号機にアイホンに向けて、音の高低の違いが色の違いを表しているのだと体験します。周囲にもカメラを向け何を話すか試してみたりもしました。

外の音も聞こえるイヤホンを装着して出かければ、周囲が騒々しくても聞き漏らさないのではないのでしょうか。

アイフォンを覚えなっければなりませんし、まだまだ改善の

余地はあるものの、近所やちょっとした買い物など一人でお出かけの道具としては、良いサポートをしてくれるものだと思います。



9月3日三年ぶりバーベキュー

in 幸崎海浜公園 



快晴のこの日は三年ぶりのバーベキュー大会で、皆さん楽しみにしていたこともあり、向かう電車でも大賑わいでした。

駅から車での送迎もして頂き、快適な移動でありましたためか、なんと盛況なことに今までになかった30人近い参加者！

これまでより下準備に手間はかかりましたが、今回の食材もイエローレシートキャンペーンで頂いた寄付金で賄わせて頂いたので、野菜も肉も魚介も豊富なラインナップでした。お酒を飲める人も食べる専門の人も、見えない人も見える人も心置きなく賑やかに歓談して色々なものを発散できたようでした。

気候がまだ十分に夏だったこともあり、砂浜へ遊びに出た人たちもいました。波に誘われ童心に戻り、膝まで海へ入った為にびしょ濡れになった方々もいました。

これらのイベントに参加して頂けたなら、この仲間でしか話せない愚痴や困りごと、思いなどを話せる場所としても、遊べる仲間が集まる場所としても、普段の生活がもう少し楽し

いものになるかもしれませんね。



🇳🇵🇳🇵 9月23日 世界網膜の日シンボル旗引継ぎ

in 神奈川県 🇳🇵🇳🇵

今回は特別取材人、家村久治さんにご協力をお願いしました。
どうぞお楽しみください。

☆🇳🇵🇳🇵 世界網膜の日（横浜&箱根だよ皆さんさん）

中年の男3人が座敷牢に・・・🇳🇵🇳🇵☆

令和5年9月24日横浜の神奈川県民センターで第27回世界網膜の日が開催され、渡辺会長ご夫婦、渡辺家長女ご夫婦、私達夫婦で参加しました。

今年のテーマは『誰ひとり、取り残さない。切れ目のない支援の輪』でした。現在国の難病指定は333あり、「網膜色素変性症」は未だ治療法が確立されていません。

この病気を診断され、様々な支援を受けることも、同じ病気

の仲間とつながることも出来ず社会から取り残される患者が多くいます。

この疾病の一日でも早い治療法確立を願い、多くの患者に生きる力と勇気を与えたい。現状の課題に向き合い、これからのあり方についてともに考えていく世界網膜の日でした。

24日午前10時30分よりパネルディスカッションが2題あり、1題目は『医療、行政、支援者、三位一体の切れ間のない支援の輪』をテーマで、パネリストに医療の場からは、神奈川県眼科医会理事、さきら眼科医院前院長鈴木高遠先生。

行政の立場から、神奈川県福祉こどもみらい局福祉部障害福祉課、課長 鳥井健二様。行政支援者の立場から神奈川県小田原健康福祉事務所 保健婦 武者友子様。

支援者の立場から、神奈川県ライトセンター事業課支援係係長 青山しのぶ様。

患者当事者の立場から、JRPS神奈川支部 板寫憲次郎様でした。

壇上にて5名が医療、行政、支援者を頂点としたトライアングルを切れ目の無い支援の輪を目立て、取り残こされている私たちの仲間をその支援の輪でしっかり包みこむようにとのコンセプトを基に、より強固な連携を模索しました。

2題目は『三位一体の輪はもう始まっている』をテーマにパネリストは、医療の場から、いけがみ眼科整形外科副院長 眼科専門医 澤崎弘美先生。

支援者の立場から、公益財団法人日本盲導犬協会 歩行訓練士 社会福祉士 堀江智子様。

岡本石井病院眼科 歩行訓練士 視能訓練士 別府あかね様。

当事者からJRPS神奈川支部の岸恵様、大沢郁恵様の5名が壇上で医療、行政の垣根を越えて支援はもう始まっている。しっかりとした支援があれば、徐々に見えなくなっ

行く人生でもきっと豊かに生きていけるはず。

色々な立場で取り組んでいる思いや夢を語り合い、そこからさらなる展開と次のステージへと繋げていく必要性を感じました。

午後からは第27回JRPS研究助成授与式で、審査講評、研究助成受賞者の研究発表と授与、受賞者による研究発表ありました。

受賞された先生方は、神戸市立神戸アイセンター病院、万代道子先生より受賞テーマ「再生医療による黄斑錐体細胞による視機能再建に関する研究」

千葉大学 大学病院医学研究眼科学、秋葉龍太郎先生より受賞テーマ「網膜中心かにおける幹細胞由来網膜シート移植後の先端電子顕微鏡を用いた網膜回路リモデリング解析」

ライオンズ賞として、京都府立医科大学の相馬祥吾先生による受賞テーマ「網膜色素変性症モデルラットにおける明暗視・形態視機能の軽日評価」でした。又、三重大学眼科教授遠藤峰生船籍の講評があり、その後研究発表がありました。研究発表についてはRP、No166号を参照して下さい。

その後、次年度開催協会引継式、次年度開催協会挨拶が行われ、次年度開催支部である、大分県支部渡辺純会長に協会旗を引継ぎました。

別府温泉等の観光案内で「別府の二度泣き」と言う謂われがあります。

別府市のように交通の不便な辺鄙地に転勤してきて泣く悔やみ、今度は転勤で別府を離れる際は、温泉があり良い土地であった別府から離れるのが寂しく泣いたと言う土地柄の素晴らしさをアピールして全国からの多数の参加を呼びかけました。

さー、ここまで堅い内容は終わります。

渡辺会長より世界網膜の日へ誘われ、大分空港から羽田空港

へひとつ飛び。

二泊三日の予定で羽田空港からレンタカー予約しておきました。

世界網膜の日終了後、箱根に一泊しようということで、空港よりレンタカー会社のシャトルバスで事務所へ到着し、レンタカーを借りて渡辺さんの長女夫婦の運転で首都高速で横浜へ向かいました。

宿泊ホテルを確認後ファミレスで昼食。三家族6人で会計が5千円ちょっとの格安でお腹いっぱい食べる事ができました。その後は港みらいと言われる山下公園へ移動、空中散歩のゴンドラあり、高層ビルや、扇形のホテル、煉瓦の倉庫等色々見学するも、結局倉庫の内部がショップとなっているお店でコーヒーを飲んだだけで宿泊先のホテルにチェックインしました。

17時半にロビー集合し、世界網膜の日の会場となっている所で開催される懇親会へ案内人付き添いで移動しましたが、道に迷ってしまい、「中華街通り帰りに焼き栗を買って帰ろーね」と話しながら30分程で到着。

会員80名位の参加者懇親会では、神奈川県JRPS会長の生バンドで10曲位の歌で会場は賑やかでした。

懇親会終了後は宿泊先ホテル到着し、部屋にてビールで乾杯しましたが、明日の行事に備えて就寝し、明朝朝食をとり会場へ移動しました。

世界網膜の日のメイン行事終了後、再度山下公園周辺を車窓から眺め、帆船が碇泊していたので立ち寄りしました。この日宿泊予定の箱根のホテルより午後18時から夕食とのものでしたので、高速を利用して箱根湯本である、正月の箱根駅伝の山登りと言われる、ここから芦ノ湖までの上り坂のはじまる所のホテルへ無事到着しました。

夕食は食べ放題、飲み放題となっており、お腹いっぱい食べホテル周辺を散歩して明日の箱根の街を夢にみながら就寝。

最終日は箱根の芦ノ湖周辺を観光船に乗船したり、箱根関所の茶屋でしばし休憩、その後、箱根関所を散歩中に中年男3人が座敷牢に捕らわれましたが、同伴した嫁3人の許しがありやっと解放されました。

その後、大学箱根駅伝の往路ゴール、復路のスタート地点や箱根駅伝記念館を散策後、レンタカーを事務所へ返しシャトルバスで羽田空港へ到着。

空港内でお土産を買いに行きますが、会長は空港ラウンジでマッサージチェアの全身マッサージをしており、あまりにも買い物から帰ってこないのので3～4回フルコースでマッサージを受けたそうですが、かえって痛かったとのコメント、お待ちどうさまでした。

荷物を預け、航空機で大分へひとつ飛び、それぞれ家路につきました。

2024年9月28～29日は大分で世界網膜の日の開催ですので、会員の方、家族会員の参加や諸準備をお願いいたします。

網膜色素変性症協会大分県支部
家族会員 家村 久治

とても楽しそうなお旅行レポート…もとい、道中記ありがとうございます。どんな罪状で旦那さん達が座敷牢へ入れられたかが面白い謎ですが、無事ご帰還 何よりでございました。





🌈 🌈 10月8日アイフェスタ in 大分 🌈 🌈
 大分県眼科医会が主催するこのイベントには、見えない・見えづらい問題を解消する最新の道具を色々展示してくれる業者さんも来ています。

生活で不自由を感じているのであれば、一度は遊びに来ることをお勧めします。小さいけれど拡大率の良いルーペや音声で読み上げてくれる機械や道具、拡大読書機も軽くて持ち運びに便利なものも出てきています。それらの詳しい使い方なども解りやすく、実演しながら説明してくれます。

また眼科のお医者様による相談も受けられ、盲導犬の体験

などもあるので、生活に合わせて必要なものを探せます。
見学に訪れる方々は熱心に、ブースの紹介者のお話を聞いていました。

我々JRPS 大分のブースにも、会員さんや会には入られていない患者さんがお話を聞きにいらしておりました。このようなイベントを窓口にして、見えない不安や不便を減らせると良いのですが。

余談ですが、JRPS 大分の設立から5年程を陰で支えて下さっていた成戸さんが、久しぶりに遊びに来てくれました。CDにて懐かしいお声をお楽しみください。



これからのイベント予定



各イベントの参加・不参加を、必ず渡辺会長までお電話
下さいますようお願いいたします。

連絡先:090-1366-5030 渡辺

★★★JRPS 大分 10 周年記念大忘年会★★★

日時12月10日(日) を予定しておりますが、詳しいことは後日
御ハガキにてお知らせいたしますのでお待ちください。



これからも様々なイベントを行えればと考えて
おりますが、参加者あつてのイベントです。
一人では難しくとも会の皆さんと一緒にあれば
楽しいし、安全だと思えます。

思いつきでも、チャレンジしたいことのご意見・
ご希望を是非お寄せ下さい。

また、家族の会でもありますので、家族の方と
ご一緒での参加もお待ちしております。

編集記

プランターの土を振るいにかけて、育ちすぎたミミズや丸くて白いコロコロの幼虫を追い出す季節がやってきました。トマト、胡瓜、薩摩にジャガに里の芋類、カボチャ、カブなどなど。来年は何を育てようかな。

~*~*~*~*~*~* おくづけ *~*~*~*~*~*~*

発行日：2023年11月20日

発行：JRPS大分会報編集局

メール：keiai.0301@gmail.com

メガネ・補聴器・福祉機器 コンタクトレンズ

のご用命は

九州最大級のネットワーク

ヨネザワ へお任せ下さい!

出張説明

機器貸出

設置

など、お気軽にお電話下さい。

ヨネザワは福祉申請のお手伝いをいたします。

お問い合わせは



別府鶴見店

☎ 0977-26-5101

担当/郡田

別府市大字鶴見2878

ゆめタウン別府店

1F

☎ 0977-27-1591

担当/山根

別府市楠町382-7

大分中央店

☎ 097-513-5922

担当/坂梨

大分市中央町2-3-19 大津ビル1F

生活訓練事業のご案内

ご自宅や必要な場所等で行います

「移動」と「情報」の障害があるとされている視覚障害です。
その不自由さを道具や工夫等で解決することが訓練となります。
各訓練の紹介です。

歩行訓練・・・手引きでの外出や白杖を使った安全な移動方法について支援します

音声でのパソコン操作訓練・・・見やすい画面設定や読み上げソフトを利用し情報を得られるように支援します

点字の読み書き訓練・・・点字を知ること、物の管理や読書を楽しむように支援します

録音図書機器操作訓練・・・録音図書の録音再生機の器械操作を支援します

日常生活訓練・・・音声での携帯電話操作や調理の工夫などをご紹介します

対象:大分県民で身体障害者手帳(視覚障害)を所持している方

費用:無料(交通機関を利用する訓練や調理などの材料は実費負担)

連絡先:(社福)大分県盲人協会

時間:月・土・祝日を除く9時～17時

電話:097-535-7558

まずは、お気軽にお電話ください



